

# 福井地震から70年！！

昭和23年6月28日 午後5時13分（当時はサマータイムでした）

○突然「ゴー！ドドドー！！」体が床の上を二転三転。何事だろうと思っていると天井の隅に穴が開き、天井板が落ち、同時に黒板が落ちてくるのが見えました。

○たくさんの方が叫びあっていたり、潰れた家の下から助けを求める声や切れた足をぶらさげて泣き叫んでいる子供など、地獄そのものでした。

○その時はただただ怖かった。大変なことだったなと心に強く思います。

「語り継ぐわが町の記録」より

## 全体の記録

- 震源地 旧丸岡町高椋村
- マグニチュード 7.1
- 死者数 3,728人
- 全壊焼失家屋 39,000余戸  
(大石村の住宅はほとんど倒壊しました。)

## 大石地区の犠牲者数

(火葬場の敷地に土葬)

大牧	10名	姫王	3名
西長田	16名	定広	3名
上小森	5名	下小森	3名
取次	2名	辻	2名
正善	1名	石塚	5名
西方寺	2名	<b>合計</b>	<b>52名</b>

あれから70年。現在は福井地震の面影もなく平和そのもの。体験した方も少なくなり資料でしか見るができなくなりました。

だが、災害はいつ起きるかわからない。忘れたところにやってくる。今一度、家族間で話し合い、災害に遭ってしまった場合の家族の集合場所や避難場所の確認。非常食の備蓄など、まずは自分の命は自分で守ることが大事だと思います。普段から避難訓練等を行い、一人一人がもっと防災の意識を高める必要もあると思います。大切なのは、自助・公助・共助であり普段からの地域防災です。それぞれが出来る日々の備えを心がけるべきではないかと思ひます。

まち協くらし安心部会 読本より

**「大地震」その時どうする？！  
家の中**

**地震発生**  
自分の身を守る  
● テーブルの下に隠れる  
● 大きな家具から離れる

**地震直後**  
火の始末 電気を切る 出口の確保  
● 揺れがおさまったら火の始末  
● 余震に備え出口の確保

**5分～10分**  
我が家の安全確認  
● 一緒にいた家族の安全確認  
● 被害拡大の恐れがあれば避難準備  
● 避難するときはブレーカーを切る

**10分～半日**  
近所の安否確認と救助  
● 近所で生き埋め、火災は発生していないか、声をかけあい助け合う  
● 離れている家族の安否確認

**半日以降**  
地区で確認・避難  
● 地区で安否を確認し、救助活動、避難等を決める

**我が家の地震対策**

事前対策こそが大切  
自分の命は自分で守る

家庭の防災会議を開きましょう  
日頃からいざという時に備え連絡方法や役割分担を確認しましょう

耐震補強対策をしましょう  
建物の安全性を高める 昭和56年以前の家屋は点検を

家具の転倒防止対策をしましょう  
大型家具が転倒し、テレビやレンジは宙を飛ぶ凶器

火を出さない環境にしましょう  
ガスマイコンメーターの設置やブレーカーを切って避難

備蓄品を整えておきましょう

**地域の地震対策**

「共助」が支える地域の安全  
地域の協働が命を守る

ご近所と協力し救出しましょう  
早期の救出が人命を救う

ブロック塀・石垣の強度を確認しましょう  
避難経路の安全確認

災害時要支援者を把握し支えましょう  
体が不自由等で移動が困難な人を支え合う

自主防災組織作りを進めましょう

避難生活で支えあいましょう

地域で防災訓練を行いましょう  
普段の備えが大切

# 防災対策をしっかりとしよう！